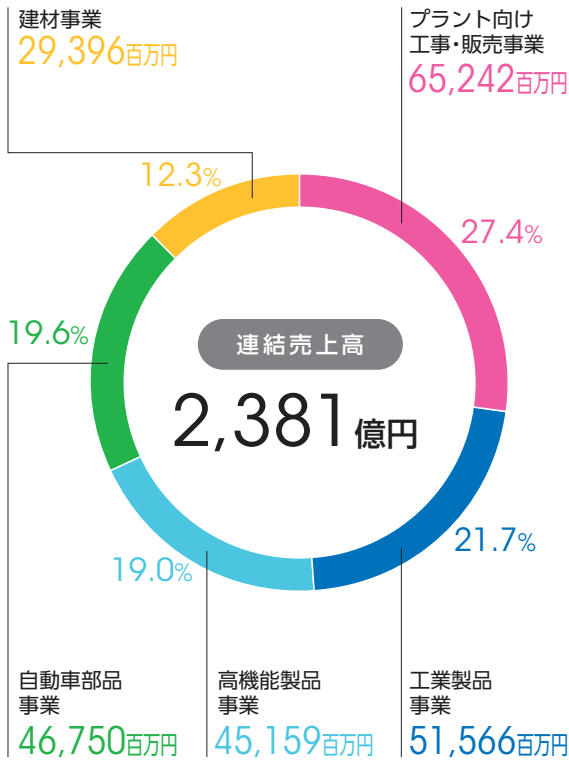


事業の概況 「断つ・保つ」®の技術で産業を支えるニチアスの事業

異なる市場に相対する5つの事業が、「断つ・保つ」の技術を活かし、各種プラント、半導体、自動車、建材など幅広い産業を支え、社会の発展に大きく貢献しています。



プラント向け工事・販売事業

石油精製・石油化学、火力・原子力発電所、LNG基地などのエネルギー関連設備や製鉄所、冷蔵冷凍倉庫なども含めた幅広い産業に対して、プラントの建設からメンテナンスまで、保温保冷・耐火・防音工事や各種シール材・断熱材などの製品を提供することを事業領域としています。

工業製品事業

シール材製品、断熱材製品、ふっ素樹脂製品、フィルター製品など、「断つ・保つ」の技術から生まれた製品の販売を通して国内外の幅広い産業のニーズに応え、その発展を支えるのと同時に、全社のマザー事業として既存事業の充実と新規事業創出の役割を担っています。

高機能製品事業

半導体やFPDを代表とするエレクトロニクス関連業界、とりわけ、半導体製造装置メーカーや周辺機器メーカー、半導体メーカーを主な顧客として、装置や機器の部品、半導体工場の設備向けに、ふっ素樹脂製品・シール材・フィルター製品・断熱材を供給しています。

自動車部品事業

エンジン周りの気体や液体など流体の漏れを「断つ」シール材、エンジンからの熱を「断つ」防熱部品、ブレーキや車載部品の音・振動を「断つ」防音・制振部品を事業の柱として国内外の自動車メーカーや自動車部品メーカーに展開しています。

建材事業

住宅からオフィスビル、工場など、さまざまな建築物に、不燃、断熱、耐火、防音などの機能を備えた建材製品の製造、販売を行う販売部門と、それら自社製品を使用した施工を手掛ける工事部門で構成されています。

プラント向け工事・販売事業

事業の特徴

- 石油化学、発電所などの幅広いプラント産業向けに保温保冷・耐火・防音工事や各種シール材・断熱材の製品を提供
- プラント産業向けの建設からメンテナンスまでお客さまと長期にわたる信頼関係を構築
- 極低温から超高温に至る領域での工法・製品の開発および工事施工・製品の提供による独自のトータルサポートサービスを実施

市場環境

石油精製・石油化学、火力・原子力発電所、製鉄所、ガスのそれぞれのお客さまが脱炭素、カーボンニュートラルへの対応で事業構造転換を進めています。そのような状況下で、既存設備のメンテナンスへの継続参画と、水素・アンモニアなどの燃料転換への設備投資に対して、差別化された新工法・新製品を提供します。

世の中のインフラを支え、省エネルギーに対応できるワンストップでの技術・施工で環境負荷低減に貢献していきます。



カーボンニュートラルに貢献する保温保冷工事

セグメント戦略

- 工事部門と製品販売部門の強みを活かしたワンストップでのエンジニアリングサービスを提供
- 省エネ診断システムなど差別化されたしくみの構築でお客さまの環境負荷を低減
- 2030年以降のカーボンニュートラルに伴う商用化に向けた新工法・新製品の開発を加速

今後の取り組み

2030年以降のカーボンニュートラルに伴う商用化に向けて、工事部門と製品販売部門の強みを活かし、省エネ診断システム“Thermofit™”をはじめ差別化されたエンジニアリングサービスを駆使した工事・製品を提供します。

顧客の環境負荷低減に貢献できる事業課題を設定するとともに、働き方改革実現のための課題に取り組み、当事業本部のステークホルダー関係者が明るく・楽しく仕事ができるしくみを構築して、長期にわたり持続的な成長を目指します。

工業製品事業

事業の特徴

- 全社のマザー事業本部として、既存事業の充実に加えて新規事業創出の役割を担う
- シール材、断熱材、ふっ素樹脂製品、フィルター製品など、多くの製品群を保有
- 非常に幅広い産業分野に対し、工場の設備用部材や各種機器に使用される製品を提供

市場環境

国内では建築、医療、食品、化学プラントなどの分野で堅調な需要が見込まれるのに加え、カーボンニュートラル実現に向け、主力製品分野の一つである省エネ関連製品(断熱材)への関心が高まっています。

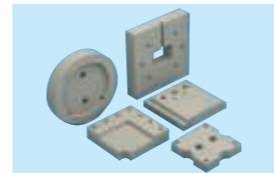
海外では半導体・電子部品市場を中心に今後も成長が見込まれています。また、揮発性有機化合物に関する環境規制の広がりやEV普及に伴う産業用除湿関連への投資の増加など、フィルター製品の需要増加が期待されます。

セグメント戦略

- プロダクトミックスによる販売機会の最大化
- 市場別事業戦略と有望成長市場への積極投資
- 原価低減活動推進によるコスト競争力強化
- 原材料調達複雑化と製造拠点多元化による製品安定供給



工業製品事業本部 本部長
浅田 啓起



省エネ関連製品(断熱材)

今後の取り組み

工業製品事業本部は全社のマザー事業本部として「新規事業の創出」を使命としており、その実現に向け、本部全体を電子部品、環境、エッセンシャル(なくてはならない産業)、産業インフラの4つの市場に分けて事業計画および事業戦略の策定を行っています。電子部品、環境、エッセンシャルの3事業を本部内の有望成長市場と位置づけ、事業規模の拡大によりいずれは事業部として独立していくことを目指します。一方、産業インフラは本部の基盤事業と位置づけており、既存市場の充実に同時に新たな成長市場の探索を行ってまいります。

高機能製品事業

事業の特徴

- 半導体製造装置、周辺機器、デバイスメーカーを主な顧客とするエレクトロニクス関連の事業本部
- 装置や機器の部品、半導体工場の設備向けにふっ素樹脂製品・断熱材・シール材・フィルター製品を供給
- 差別化(技術力・対応力・安定力)で新しい価値を創出し、業界にとって必要不可欠な事業

市場環境

半導体市場の2023年度前半はスマートフォンやPC向けの需要減に伴い、半導体メモリに対する投資が抑制されたことに米国の対中輸出規制強化も加わり、調整局面に入る見込みです。2023年度後半からは徐々に需要が回復し、2024年度には2022年度以上の強い需要が戻ると想定されます。中長期的にもIoT・AI・5G・メタバースの普及、加速するデータ社会により半導体市場は成長していくと考えられます。

セグメント戦略

- 徹底した顧客密着型営業による顧客との信頼関係構築
- ニーズに応じ先取りした技術開発により差別化製品の創出
- 市況の変動に追従できる生産体制構築による機会損失の回避



高機能製品事業本部 本部長
龍光 幸徳



半導体工場の設備向けふっ素樹脂製チューブ

今後の取り組み

中長期的に成長する半導体市場において、これまで以上に顧客にとって必要不可欠な存在になることを目指して、以下4点を重点に事業に取り組みます。①徹底した顧客密着型のトータルソリューション ②差別化された製品の開発および環境に配慮した製品開発(3Rやカーボンニュートラル対応) ③中長期的に成長する市場に対して、先読みした事業投資による安定した生産体制構築(品質、生産能力、製造技術) ④生産拠点の分散化や部材の安定調達を目指したサプライチェーンでのさらなるBCP対応への強化

自動車部品事業

事業の特徴

- 自動車用エンジン周りの気体や液体など流体の漏れを「断つ」シール材の開発、製造
- 自動車用エンジン周りからの熱を「断つ」、「保つ」防熱・保温部品の開発、製造
- 自動車のブレーキや車載部品の音・振動を「断つ」防音・制振部品の開発、製造
- 材料開発から設計・評価・製造・品質保証までの一貫体制を構築することで、お客さまの多様なニーズに対応
- グローバルで現地化に対応できる生産・販売体制を整備(日本・北中米・アジア・中国・欧州の世界5極体制)

市場環境

自動車産業分野においては、「100年に1度の大変革期」と言われるほど急速に脱炭素、カーボンニュートラルへの対応が進められており、今後内燃機関(ICE)が減少、次世代車と言われる電動自動車、燃料電池車の需要が増えていくものと見込まれています。

また、自動車部品の生産プロセスにおけるカーボンニュートラル化の要求も加速しており、CO₂排出削減に向けた取り組みが一層重要となってきています。

セグメント戦略

- 拡大する次世代車市場に対して、ニーズを先取りした差別化製品を創出
- 事業環境動向の変化に適応した生産体制の構築
- カーボンニュートラルを目指した製品開発および生産改善への取り組みを推進

今後の取り組み

内燃機関向け事業は、電動化の流れの中で需要減少が見込まれますが、地域/国のエネルギー事情、車両の用途により、電動化の進捗が異なるため、需要に合った生産体制の最適化を図ります。

次世代車向け事業は、これまで培ってきた技術や製品、また顧客からの信頼を基盤に電気自動車、燃料電池車などに対してニッチな「断つ・保つ」技術を活用したカーボンニュートラルを目指した製品開発に取り組みます。これからも自動車産業の発展に向け貢献してまいります。



自動車部品事業本部 本部長
今中 博信



コンプレッサー用ガスケット

建材事業

事業の特徴

- 各種建築物に不燃、断熱、耐火、防音などの機能を備えた建材製品の提供
- 販売部門は再生材を使用した環境にやさしい不燃のけい酸カルシウム板や、防音、耐火などの性能に優れ、省エネ効果の高いロックウール製品を販売
- 工事部門は、オフィスビルなどで床下配線を実現し快適な空間を保つフリーアクセスフロア工事と、鉄骨建造物を火災から守る、意匠性に優れた巻付けタイプのロックウール製耐火被覆材を施工・販売

市場環境

新設住宅着工戸数の推移は今後も減少が予測されており、住宅市場は厳しい状況です。一方、非住宅市場は、EC市場の高まりにより倉庫需要は好調を維持し、コロナ禍からの回復などによる、店舗、工場案件も回復する兆しです。

さらに都市部での再開発は、今後も堅調に推移する見通しです。

セグメント戦略

- 選択と集中により、各事業の見直しを進め収益の改善を図る
- 堅調な非住宅市場に対しては、差別化製品をさらに拡充しシェアアップ
- 環境配慮型製品の開発、製造技術の改良などによりカーボンニュートラルに向けた取り組みを推進

今後の取り組み

新築住宅市場の縮小により採算性の低い住宅関連製品の縮小、統合を加速し、収益性の期待が持てる非住宅市場を重点的に攻略します。特に注力する課題としては、まずフリーアクセスフロアの新製品投入によるシェア拡大です。

次に巻付け耐火被覆材は採用機会の多い倉庫物件に加えて、今後はオフィスビル物件の採用を増やすためにさまざまな取り組みを推進していきます。さらに近年引き合いが増加している海外市場へも活躍の場を広げ収益を拡大してまいります。

これからは環境に配慮した製品を提供し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



建材事業本部 本部長
富松 博幸



巻付けタイプのロックウール製耐火被覆材